

東北・宮城と秩父鉄道を愛する作者が
鉄道・花火・ライブを写真で伝える、こだわりのフリーペーパー

発行：CTIN 河野 拓 こうの たく
E-mail: ctin@ctin.jp http://ctin.jp/ Twitter: @ctin_jp

【今号の見どころ】(1面) SENDAI 光のページェント (2面) CTIN Artist Selection からす天狗
(3面)12月ワンマンライブレポート (@なおポップ / 皐月 / ウラノソラズ) (4面)CTIN からのお知らせ



SENDAI 光のページェント



▲せんだいメディアテーク前にて
中央部に写る、色の異なる電球は、東京・表参道地区から
寄付されたもの。

◀円形公園・シンボルツリーと共に

仙台の冬の風物詩、SENDAI 光のページェントが 2011 年も 12 月 2 日から 31 日にかけて開催されました。

3 月の大震災に伴う津波で、使用予定の電球がすべて流されるという大惨事に見舞われ、開催できるかどうか
も危うい状況でしたが、各方面の温かい寄付により無事、開催することが出来ました。

特に、東京の表参道イルミネーション実行委員会、秋田県の大館シャイニングストリート実行委員会からは
電球が寄付がされ、普通のページェントとは異なる形で彩りを添えていました。

23 日にはサンタ・パレード「サンタの森の物語」、また、毎日 18 時、19 時、20 時に一旦消灯となり再度点
灯される「スターライト・ウィंक」などのイベントも例年通り行われました。

今年行われた様々なイベントに共通して言えることですが、開催してくれたことに心から感謝しています。

仙台の人々の思いが一つ一つの光となり、街を彩る。単にケヤキ並木を電灯で飾るということ以上の意味を
持つこのイベント、来年以降も続くよう、全力で応援しています。

改めて、がんばろう東北。がんばろう仙台・宮城。

【制作・配布ご協力店舗】

利久 RIKYU

牛たん炭焼 利久 東七番丁店

仙台駅東口から徒歩 3 分
〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡 2-3-22

Tel/Fax : 022-296-3577

<http://www.rikyu-gyutan.co.jp/> (オンラインショップ)

<http://www.gnavi.co.jp/rikyu/> (店舗紹介:ぐるなび)



※ 関東地方にも 5 店舗あります。(イオンレイクタウン店・池袋店・赤坂店・アトレ吉祥寺店・仙臺たんや利久 東京駅店)

CTIN でライブ撮影を行っている、
おすすめのアーティストさんをご紹介します。

主な出演会場：横浜 Dragon Club、下北沢 BASEMENT BAR、
(高田馬場) 四谷天窓、阿佐ヶ谷 Next Sunday など
公式サイト <http://karasutengu.net/>



ライブ写真：2011年8月28日
横浜 Dragon Club にて



ライブ写真：2011年9月10日
平塚 SANTANA にて

結成当初より CTIN ではライブ写真にて
全面協力させて頂いている、ダンスホール
バンド「からす天狗」の皆さんです。

「音魂」と称する4人の楽器演奏をバック
に、「言魂」と称する3人がダンスとボーカル
でグサッと斬り込む、7人組のバンドです。

この度、東京都より「ヘブンアーティスト」
の認定を受けました。東京都公認で路上ラ
イブ公演を行える資格です。

では各回ご登場頂くアーティストさんに
共通の3つの質問にお答え頂きましょう。

Q1. あなたの「人として」の「こだわり」は何ですか？



「礼」です。

相手を敬い、自分を謙遜する、という事が最
も人として大事なことだと思っています。

例えば挨拶一つにしても、お辞儀をして相手
より自分を小さくみせる、という行為は、それ
が一般生活の中で表面化された最たるものだ
とされているので、挨拶が出来てない方を見か
けると、「なんだかなー」と思ってしまいます。

音楽をやっている人なら、大なり小なり、たくさんの人に
聴いてもらいたい！と思っているはずですから、ステージ上
では横柄でも、フロアではお客さんやスタッフの人に対して、
こういった事を常に心掛けていなければ、どこにも届かない
と思います。

すごくちっちゃい事かもしれませんが、ちっちゃい事こそ、
大事にしていく人間でありたいな、と思っています。

(JU-YA / MC)



人生は冒険。
出会った人、見つけたもの、
全部だからもの。

(NAN - CHA / Dr.)



愛する事
繋がりをもって
手を取り合って
様々な事に立ち向かったり
協力しあって感動を得ること。

(WAGy-Y / singer)

【からす天狗 ライブ予定】

2月11日(土祝)会場：下北沢 BASEMENT BAR

◆◆からす天狗一周年アニバーサリー企画◆◆

天地を喰らう！～九龍色来来～ ★ sound color ★

17:30 開場 / 18:00 開演 ￥2,000 (ドリンク別)

からす天狗 / アブラジョー / 乱舞虎 / 焚火 / 嘉義源太 /

[DJ] AkiYoshioka [Live Art] k:souly aka YAN / DEL

※詳細及び最新情報は公式サイト <http://karasutengu.net/>

にてご確認ください。

Q2. あなたの「ミュージシャンとして」の「こだわり」は何ですか？



ベタですが結局「楽しい」ということが一番かと
思います。音だけで楽しませるとは当然です
が、「この人たちずっと見てられる」と思えるくら
い飽きさせずに色々な角度から楽しませることが
できたらなと思っています。なので音楽は勿論、それ
以外の箇所もよく見ていただきたいですね。

(Jr / Gt.)



音ではなく
楽しいにこだわる！

(くわ / Ba.)



わたしのミュージシャンとしての
こだわりは、
「たとえギャラを頂く仕事でも、自分
自身が楽しいと思うもの、お金を払っ
ても観たい・聴きたいと思うもの以
外はやらない」です。

(酒井大佐 / Per.)

Q3. 読者の皆様一言お願いします。

音楽が人生の全てだ！なんて事は思いません。
やはり人間最後の最後は、人の暖かさでしょう。
そういった関係を「音楽」で作りたいていどうしても！
からす天狗を初めて観てくれた人もファミリーの
一員と言いたい！
是非一度、現場(ライブ)に遊びに来てください！
(中家 / MC・リーダー)



【CD】「リベンジ」2011年6月発売

11曲入り 500円、ライブ会場にて発売中

1. からす天狗のテーマ～序章～
2. 第一話「挨拶」 3. 窮鼠虎をも噛む
4. 手刀 5. 第二話「説教」 6. 鶏
7. 三つ巴 8. 第三話「反抗」 9. リベンジ
10. 一刀両断 11. 最終話「本物」



CTIN では、ライブ写真の撮影に際して必ず事前にアーティストさん及びライブ会場、イベント主催者さんの了承を得た上で行っています。会場の後方または側面壁際に構え、フラッシュは使わず、状況に応じてシャッター音の出ないカメラを使用するなど、他のお客様にご迷惑をお掛けしないよう努めています。

年末ワンマンライブレポート豪華 3 本立て

2011年の年末は素敵なワンマンライブを観覧する機会に恵まれました。ここでは東京・仙台合わせて3本のワンマンライブの様子を写真付きでご紹介します。

12月18日(日) @なおポップ in Cafe Salut (仙台)



@なおポップ公式サイト
<http://naopop.blogspot.com/>



@なおポップさん



タカハシヨウヘイさん (Ba.) の手
によるキャンドル使用の演出



オープニングアクトを務めた
菅井マサトモさん

ミニアルバム "I am @naopop 2" のレコ発ツアーファイナルとして行われたワンマンライブ。

タカハシヨウヘイさん (Ba.)、佐々木順子さん (Per.)、次元さん (Per.)、いずっとさん (Pf.)、ゆうなさん (Cho.) に囲まれた6人編成でのバンド演奏のほか、事前に募集したリクエストを演奏するソロコーナー、アンコールではキャンドルを用いた演出が行われるなど、楽しくかつ温かみのあるワンマンライブとなった。

12月23日(金祝) 皐月 in FANTASTICO (恵比寿)



皐月さん



皐月ブログ

「皐月の50%はコーラゲンで出来ています。」
<http://ameblo.jp/aoinode/>



ピアノ・柳集一さん

会場は何と個人宅の地下!とは言いながらも、50席の客席と音響設備を持った立派な音楽スタジオである。

皐月さんは普段のライブでは素敵なサポート陣に囲まれ歌っているが、今回はピアノの柳集一さんと2人でのワンマンライブを行った。

根っからの透き通る歌声とピアノの音色がイタリアの雰囲気漂う会場に素敵に響いていた。

MCでは上京当時の話から最近開催した主催イベントの話までを振り返りつつ、いつものように笑いに包まれ、会場全体が家族になったような雰囲気のワンマンライブとなった。

12月27日(火) ウワノソラズ in 恵比寿天窓 .switch



野上朝生さん



公式サイト

<http://uwasola.com/>



左から、加藤聡さん (Dr.)、河本奏輔さん (Ba.)、石井夕紀さん (Vi.)、いちげさん (Gt.)、栗原晋太郎さん (Sax.)

野上朝生さんによるソロユニット「ウワノソラズ」。最近の野上さんはジブリジャズでの活動も盛ん。ウワノソラズとしては11月30日にはニューアルバム「Ambitious」もリリースされた。今回は写真の通り豪華バンドメンバーによるワンマンライブ。大人の空間が演出されていた。男の自分が見ても素直にかっこよく、撮らせてもらってもとても楽しい。

【おすすめイベント】

系蘭懐石

×

SAMURAI SPIRIT

音楽・殺陣・ダンス・芝居 —、異なる種が織り成す融合イベント

日 二月十五日(水)

時 開場 18:30 開演 19:30

券 3,800+1dr

於 東京キネマ倶楽部 <http://www.kinema.jp/>

出演: 小林未郁、市川梢、田中ひろこ、中原百合香、南かおり、剣伎衆かむみ

(写真は2010年3月
渋谷 DUO Music Exchange にて
「系蘭懐石 おかわり」より)



小林未郁さん

<http://miccabose.com/>



剣伎衆かむみさん

<http://k-kamui.com/>

花火ツアー 2011 写真展

「日本には花火が必要なんだ。」 ご来場御礼

2011年12月23日(金)～29日(木)、デザインフェスタギャラリー原宿 WEST 2-Bにて開催



7月16日から12月3日まで、合計16の花火大会で撮影した写真を時系列に並べて展示しました。ご来場ならびにご支援頂いた皆様、厚く御礼申し上げます。

振り返ると、まず、準備が完全に間に合わず、初日だけは、各大会の説明の紙が白地に日付と大会名、開催地のみを描いた簡潔なもので済ませてしまったこと。これは本当に申し訳ありませんでした。24日からは想定通りの内容で展示を始められました。

お客様の反応として、特に印象的だったのが「花火ってセミみたいなもんですね。」そう、花火師さんは心を込めて、時間をかけて花火玉を作り上げる。でも、打ち上げて開いて散ってしまうまでは30秒もありません(割物の場合)。花火大会を運営される方々には、そこを分かってほしいんですよ。変な風評を真に受けて一部の業者を排除するなんてもってのほかです。

他にも「震災後だからこそ花火のような華やかなものをやらなくちゃいけないと思う。」「この時期に開催する意味のある展示だと思う。」など、大変ありがたい言葉を頂戴いたしました。

様々な状況を勘案すると、時期等の見直しは必要と考えていますが、2012年度についても同趣旨の展示を実施したいと考えていますので何卒宜しくお願い致します。

最後に、私の夏の一連の行動に「花火ツアー」という単純明快かつ素晴らしい名称を付けてくださった、シンガーソングライター(そしてルーパー日本一、世界2位)のナオリュウさんに深く感謝します。



秩父鉄道の動き

- 1月1日から3日まで、年始恒例の急行開運号が運転された。羽生10時12分発影森行の秩父路3号と同時刻。例年通り、この列車の秩父駅到着に合わせて秩父駅前に集まった乗客を秩父神社昇殿正式参拝へ案内するサービスが行われた。
- 元東急8090系と7500系の5本目、7505Fが12月中旬に運転を開始した。1000系は残り5本となった。



急行開運号・6202F
2012.-1.-3 武州荒木～東行田間にて



7505F
2012.-1.-3 大麻生～明戸間にて



伊達に旅する写真集～仙台・宮城へ出かけよう～ 発売中!! 1冊800円(うち寄付金300円)

A5判32ページに、仙台・宮城の鉄道・観光写真を凝縮しています。

売り上げのうち、1冊300円分については、宮城県を中心とした被災地支援活動に活用して頂くよう、寄付を行います。(CTIN 出展の展示会場、牛たん炭焼 利久 東七番丁店で販売。他は河野までお問い合わせください。)



展示予定

「月例展示」開始します。場所はいずれも、デザイン・フェスタ・ギャラリー原宿。旬な写真数点の展示と、「伊達に旅する写真集」、ポストカード等の販売を行います。

1月15日(日)～22日(日) WEST アートピース No.21 2月13日(月)～19日(日) EAST アートピース No.12
3月19日(月)～25日(日) WEST アートピース No.9 4月23日(月)～30日(月) WEST アートピース No.21

5月12日(土)・13日(日) Design Festa Vol.35(東京ビッグサイトで開催) 両日出展予定!!

配布ご協力店大募集!!

CTIN Press は、カフェ、ライブハウス、ギャラリーなどを訪れるお客様に気軽にご覧頂けるフリーペーパーを目指しています。現時点ではこれといった御礼も出来ませんが(せめてお名前だけでも紙面で紹介させていただきます。)、配布にご協力頂けるお店の方もしくはアーティスト様、何卒、メール、Twitterで、あるいは直接お会いしたときなどお声掛け頂きたく、宜しくお願い致します。

あとながき

2012年になりました。前号でも申し上げた通り、喪中につき、新年のご挨拶は紙面上も行わないこととさせて頂きました。ですが、引き続き、本年もお付き合いのほど宜しくお願い致します。

新しい年になった、ということは、東日本大震災も去年の出来事になった、ということです。現地に何うことが出来ずとも耳に入ってくる情報を聞く限りでは、復興どころか復旧もままならない地域がまだまだたくさんあります。東北を想う気持ちを決して風化させないこと、そして、出来ることは何か、を引き続き考え、実践すること、これらを2012年も継続します。

次号 Vol.4 は2月11日発行予定です。

